



決意をあらたに 2学期始業式



始業式では、校長先生から「最高で最強なみんなならではの2学期をつくろう」というお話がありました。多くの行事があり、自分の力を存分に発揮する時期となります。また、学級や全校で力を合わせなければ乗り越えない大きな壁もあるはずです。生徒の皆さんが、日々を大切に充実した時間を過ごせることを願っています。また、各学年の代表生徒が、2学期の抱負を力強く発表してくれました。全校生徒は、その言葉に真剣に耳を傾け、改めて自身の2学期の目標を見つめ直すことができましたようです。私たち教職員一同も、一丸となって教育活動に取り組んでまいります。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。



「2学期の目標」 1年2部 N・Aさん

私は2学期の目標が二つあります。まず、1つ目は定期テストの成績を上げることです。1学期の定期テストでは、テスト勉強をしたにも関わらず社会で低い点数をとってしまいました。中学校初めての定期テストだったとはいえ、かなり悔しかったです。2学期のテストもそんな思いをするのは嫌なので、次のテストはより良い成績になるようなテスト対策をしたいです。そのためには復習と予習を今よりも積極的に行うようにし、あとで見直すためにもきれいにノートを取るようにしたいです。テスト勉強の期間が始まったら社会などの苦手な教科を中心に勉強したいです。テスト範囲をしっかりと把握し、範囲の単元を全体的に理解しておくようにしたいです。あとは、さらに細かい部分の苦手なところを復習して、テスト当日までゆとりをもってテスト勉強を行えるようにしたいです。

2学期の目標の2つ目は、美術部の活動についてです。制作の絵の具での塗り作業を早めたいです。昔から何かと作業が遅くなってしまうので、部活でも同じようなことになっています。完成が遅れるからといってこだわりを減らしたり、完成度が落ちてしまうことも避けたいです。そこで、制作で主に使う画材である絵の具に慣れれば良いのではないかと考えました。そのためには帰宅後の空き時間にひたすら練習することです。資料を見て塗り方について学んだり、いろいろな塗り方を試したりすることを実践したいです。その二つの目標を達成し、充実した2学期にしたいです。

最後に、2学期は行事の多い学期でもあります。しらかば・すずらんコンテストで良い結果を出すことができましたので、2学期の合唱祭では、より団結力を高め、精一杯歌える努力をしたいです。

ところで、私のクラスは元気で団結力のあるクラスです。学級目標は「元気爆発！サーティーワン」です。「サーティーワン」の意味は、先生を含めた1年2部の人数が31人であることと、サーティーワンアイスクリームの色も味も違うフレーバーのように一人ひとりが個性のあるメンバーであることです。そんな学級目標をクリアできるようなクラスになれるよう、2学期の行事も頑張りたいです。

「2学期から頑張りたいこと」 2年2部 S・Mさん

突然ですが、私は今、とても緊張しています。

このように全校の前に立つ機会は少なく、「噛んでしまわないかな」「きちんと伝わるかどうか」と不安が頭をよぎるからです。でも、こんな自分だからこそ、今日はこの場で話すことに挑戦しています。

さて、本題に入ります。私が2学期に頑張りたいことは3つあります。

1つ目は、今のように全校の前で話しても緊張しないようになることです。私は人前で話すことが得意ではありません。しかし、苦手だからといって避けていては、いつまでもできるようにならないと思います。だからこそ、このように皆さんの前で話す機会があったら「やりたいです」と自分から手を挙げて、少しずつ慣れていきたいです。

2つ目は部活動です。7月に先輩から引き継ぎを終え、私は卓球部の部長になりました。先輩が部員をまとめる姿はとても自然だったので、「私でもできるでしょう」と思っていました。しかし、実際にやってみると、話を聞いてもらえなかったり、自分では伝えたつもりでも伝わっていなかったりと、思うようにいかないことが多く、人をまとめる難しさを実感しました。2学期には新人戦があります。部員全員が少しでも成長できるようにまずは、私自身が精一杯頑張りたいです。

3つ目は、勉強です。私は期末テストの前になるといつも緊張してしまいます。母に、「準備が足りないから緊張するし自信が持てないんだよ」と言われました。その言葉を聞いて、自分に自信がないのは圧倒的に勉強量が足りてないからだと感じました。そして、来年はいよいよ受験があります。毎日の勉強を大切に、一日一日を積み重ねていきたいです。

2学期は、部活動でも勉強も、「頑張ってたかった」「楽しかった」と思えるように一つ一つのことに全力で取り組んでいきたいです。

「大切な今」 3年4部 A・Yさん

2学期。それは一年の中で最も長く、最も多忙な時期です。白鈴祭、合唱祭、探究ウィークなどのそれぞれの成果を出し合い楽しみ合う行事もあれば、テスト、生徒会引き継ぎなどの自分や学校に関わる行事もあります。さらに2学期は自分の夢を叶えるための大切な時期です。夢までの道は、固い決意をもち、本気でかからなくては通れない厳しい道です。私は3つの決意を発表しようと思います。

1つ目は無鉄砲に突っ込んでいけないことです。2年生の頃の探究ウィークで、私はただ自分のやりたいことだけをやり、そのことだけに時間を使いました。その結果いい成果を出せませんでした。やりたいことだけやっても、いい結果にはならないと学びました。ですが、最初から冷静に先を見据えて考えればこのような結果で終わることはなかったと思います。そこで今年の探究ウィークでは自分のやりたいことは置いておいて、基礎の部分を徹底的に行いました。「無鉄砲に突っ込まず、先を見据えて冷静に考えること」は大人になっても必要なスキルです。ですから2学期のうちにこのスキルを身につけることが大切だと思い2学期の目標の1つ目として決めました。

2つ目は多くの道を見出すことです。ゴールまでの道は何万本もあります。その時の自分に合った道があるはず。誰かに決められた道なんかより自分で見つけた道を歩きたい。そのためにはどんな道があるのかを知る必要があります。多くの道を見出し、自分の決めた道を歩きたいという思いから、目標の2つ目に決めました。

そして3つ目は自分の夢を突き進むことです。自分の夢を叶えることは、とても大変です。多くの壁が立ちふさがり、なかなか自分通りにいかないこともあります。ですが、この壁を壊さなければ夢にはたどり着けません。壁を壊し進んでいくためには、諦めない心が必要です。諦めなければ何度でも挑戦できる。諦めてしまったらそこで終わりです。だから私は、諦めない心をもち、自分の夢を突き進んでいくことが大切なことだと思い目標の3つ目に決めました。

2学期は自分の夢を叶えるための最も大切な時期です。先を見据えて冷静に考え、多くの道から自分の進みたい道を決め、その道を本気で突き進む。それが私の見出した夢までの最短ルートです。それともう1つ大切なことがあります。それは周りの人に自分の夢を発表することです。夢を発表することは、「言える勇気がない」「笑われてしまうかもしれない」と誰もが怖がってしまいがちなことです。ですが、

私は夢を言葉にできたときこそ、自分の決意が固まった証だと思います。ですので、決意が固く強いものだとすることを証明するため、私の夢を発表します。「俺は世界のゲーム業界のトップになる！」

2 学期始業式 校長講話

この写真は、7月25日、土曜日に行われた富士見のOKKOH 祭で撮影した1枚です。ここに映っているのは3年生です。学級ごとおそろいのTシャツを着て、夕方からの踊りに4クラスみんなで参加をしました。結果、最優秀賞に選ばれました。3年生のみなさんおめでとうございます。そして、ここには映っていませんが、1年2部のみなさんは、OKKOH 祭を運営するスタッフとして参加をしました。1年2部のみなさんにも拍手をお願いします。



さて、1学期の終業式で、みなさんに、「与えられた624時間」の話をしました。覚えていますか。無駄にすることなく、自分のため、家族のために、有効に使うことはできましたか。時間をしっかりとマネジメントできた人がいたら、本当にうれしいです。

いよいよ今日から2学期が始まります。夏休み前の1学期は73日ありました。夏休みは26日でした。2学期はどのくらいあるか知っていますか。85日です。3学期が47日なので、1年で一番長い学期が2学期になります。2学期には白鈴祭、合唱祭をはじめ、たくさんの行事などがあります。

そのような2学期を今日から過ごすみなさんに、次の言葉を届けます。まずは一人ひとり読んでみてください。「ひと足ひと足 山をも谷をも 踏み越えよ」という言葉です。この言葉を生み出した人は、西尾實（みのる）という方です。

西尾實先生は、1889年、今からおよそ140年前、長野県の下伊那郡、現在の阿南町の生まれ。長野県の小学校で先生をしていました。そして、1949年には国立国語研究所の初代所長をつとめた先生でもあります。下伊那郡では有名な先生だそうです。

次に、この言葉が生まれたエピソードを伝えます。西尾先生は10歳の時、お父さんと一緒に、自宅から10里離れた飯田まで、わらじを履いていくつもの峠を越えながら歩いたことがありました。全校の皆さんに質問です。わらじってどういう履物か知っていますか。こういう物です（写真を示す）。今の靴とは大違いの藁を編んでつくった靴です。10里ってどのくらいの距離か知っていますか。1里が3.9キロなので、今でいうとおよそ40キロになります。富士見中から40キロ離れたところはどこだと思いますか。それは、塩尻駅です。諏訪へ出て、諏訪湖のまわりを歩いて、塩嶺峠を越えた先が塩尻です。そこまで電車でも、車でも、もちろん自転車でもなく、歩いたのです。普通に歩くと時速4キロなので10時間かけて歩いたのです。10歳だった西尾先生は、足が棒のようになり、もう歩きたくなくなるとお父さんの言葉に励まされ、歩くことができたそうです。このような当時のことを思い出した時に、この「ひと足ひと足 山をも谷をも 踏み越えよ」という言葉が生まれたのだそうです。

西尾實先生が、この言葉で伝えようとしたことは、どのようなことなのでしょう。そして、長い2学期を過ごす皆さん一人一人にとっての“踏み越える山”とは何ですか。学年や学級にとって“乗り越える谷”とは何ですか。この西尾先生の言葉から何が伝わってくるのか、ぜひ考えてみてください。

次に、終業式でもお伝えした、サキドリ研究校としての2学期からの実践についてお伝えします。サキドリ研究校とは文部科学省という日本の教育をつかさどる機関から指定を受けた学校のことで、年間1015時間ある総授業時数を一割（10%）減らして、そこから生み出された時間に、総合的な学習の時間を更に増やしたり、独自の教科を新設したり、先生たちの研修の時間を設けたりすることが許されます。

これから実際にどのようなことをしていくかということ、2学期からは月曜日の6時間目がまずは変わります。例えば5時間日課にして、先生たちは研修をします。みなさんは、下校した後どのように過ごす

のかマネジメントしてください。他には教科をより広く深く学ぶ授業をしたり、情報リテラシーについて学ぶ授業をしたりもします。

3学期には、50分授業を45分授業にする予定です。短縮したことで生み出された時間には、例えば10分間の帯の時間を毎日設けます。2学期同様に教科をより深く学んだりもします。こういった取組は国からの指定を受けていないとできません。富士見中学校にとって大きな大きなチャレンジです。より学校生活が、学校での学びが充実するためにも、みなさんの協力が必要です。よろしくお願いします。

最後になります。85日間の2学期、最強で、最高な、“わたしたちならでは”の2学期にしましょう。そして、全校一人ひとりが「自ら考え、判断し、行動できるわたし」になりましょう。終わります。

アンソニー・アドレス先生とのお別れの式

2年間、本校の英語教育にご尽力いただいたアンソニー先生が、この8月末をもって本校を去ることになりました。ゲームなどを織り交ぜながら、楽しく英語に触れる時間を作ってくださったアンソニー先生とのお別れは大変寂しいですが、新天地でのさらなるご活躍を願い、全校生徒で感謝の気持ちを伝えて送り出しました。アンソニー先生、これまで本当にありがとうございました。



【2学期の主な行事】

- ◆ 9月 2日(水) 下校時避難訓練
- ◆ 9月15日(火) 第2回総合テスト(3年)
- ◆ 9月22日(火・祝)～ 中学校新人体育大会南信大会(開催日は競技によって異なります)
- ◆ 10月 1日(木)・2日(金) 第17回白鈴祭
- ◆ 10月 6日(火) 定期テスト(1・2年)、第3回総合テスト(3年)
- ◆ 10月24日(金) 第2回参観日 PTA 講演会
- ◆ 11月 2日(月) 参観日②、PTA 講演会
- ◆ 11月10日(火) 第4回総合テスト(3年)
- ◆ 11月17日(火) 合唱祭
- ◆ 11月26日(木) 生徒会正副会長選挙
- ◆ 11月30日(月)～12月4日(金) 個別懇談会
- ◆ 12月 7日(月)～11日(金) 探究ウィークⅡ
- ◆ 12月15日(火) 定期テスト(1・2年)
- ◆ 12月22日(月) 生徒総会
- ◆ 12月25日(金) 2学期終業式

【連絡】

- ・完全下校の時刻が期間によって変わります。9月29日(火)までは18:10、10月1日(木)～11月27日(金)16:45になります。